

謹賀新年



兵庫工業会

NEWS

平成28年1月1日

発行／公益社団法人 兵庫工業会

No.273



2016年の新年を迎えて



皆さん、新年明けましておめでとうございます。

昨年は、当会は創立30周年を迎え、従来活動に加えて、サマーパーティ、講演会、幹部育成研修など多くの記念事業を企画・実行してまいりました。また、兵庫県立大学との産学連携を強化し、交流を深める企画も実行してまいりました。それら諸活動に、深いご理解とご支援を頂戴いたしました会員各社と、県、市の関係諸団体の皆様に心から感謝申し上げます。

昨年の日本経済は、円安と原油安という環境に恵まれたこともあり、上期の上場企業の経常利益総計は、約17兆8000億円と史上最高を更新いたしました。また、流行語大賞の「爆買い」に象徴されるように、訪日外国人の大幅増加で、流通・サービス業も売り上げを大きく伸ばされました。兵庫工業会会員企業においても、業種間で差異はあるものの、上期業績は概ね良好であったとお聞きしております。ただ、上期末から下期に入ると、中国経済の成長率低下の影響、世界的なテロの恐怖などにより、先行き不安が見られ、近畿財務局の兵庫県内経済情勢報告でも、生産活動は7月の「持ち直している」から10月には「持ち直しの動きに足踏みがみられる」に変化しています。政府には、適切なる補正予算の編成などで、経済が失速しないような政策の実行を期待するところです。

そのような環境下で、会員企業の皆様方のご苦勞は絶えないことと存じます。兵庫工業会では、これまで以上に皆様方のお役に立つ会になるべく、来年度の活動計画を策定中です。その第一歩として、組織変更に着手しております。具体的には、総務企画委員会を廃止し、その役割を正副会長会議及び会員交流、人材育成、産業・技術振興、グローバル化推進の4委員会に委ね、更なる活動の強化を図ることといたしました。各委員会の委員の皆様におかれましては、活発なご議論、企画・立案のもと、着実なる活動の実行をお願いいたします。

現実には厳しく、なかなか「下町ロケット」のようにはいきませんが、いつの時代も、「夢」を持ち続け、それに向かって邁進することが重要です。今年一年が会員各社にとって「夢」の実現への一里塚になることと、皆様方のご健康を祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

公益社団法人 兵庫工業会

会長 **大西 功一**

(株式会社 神戸製鋼所 顧問)

新年のご挨拶

公益社団法人 兵庫工業会

副会長 村元 四郎

(グローバル化推進委員会 委員長)

新年あけましておめでとうございます。

去年はバンコク・パリをはじめとした忌まわしいテロにより、とかく海外渡航へのリスクがクローズアップされた年でした。

一方為替を見てもみると、対ドルについては円高基調から急激な円安となり1ドル120円近辺で1年間推移し、為替変動に悩まされることは少なかったかと思います。

今年は少なくとも安全にビジネス活動ができる、平和な1年であることを願わずにはられません。

さて、グローバル化推進委員会の事業企画も残すところ1年と少になりました。

ミッション企画をはじめ、アジア地域への進出をサポート、また現地コネクションの拡大に寄与できる企画を委員の皆様と作り上げていく所存です。

会員企業各位におかれましては、本年も積極的に事業ご参加いただきますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



公益社団法人 兵庫工業会

副会長 松下 秀明

(人材育成委員会 委員長)

新年明けましておめでとうございます。

今から10年前の2005年に米国のジャーナリスト、トーマス・フリードマンが「フラット化する社会」を提唱しました。今まさにフラット化が加速したように思います。

そしてフラット化の功罪が顕著に出てきました。功の方では、TPPやグローバルネットワークなど、罪の方では、テロ行為や自動車メーカーの不正などの世界的な広がりです。

企業ではこの機会を捉えて、日本の技術や特産品を一気に海外へ展開しようと策略しています。しかし、フラット化することは同時に海外の特許や意匠にも抵触することで、我々は商人道に通じる人間力をもって真摯に対応していく必要があります。

今年の干支の「丙申^{ひのえさる}」は、形が明らかになって、完熟に向けて突き進んで行く状態だそうです。今年も皆様と共に切磋琢磨していきたいものです。



公益社団法人 兵庫工業会

副会長 金井 宏彰

(産業・技術振興委員会 委員長)

新年、明けましておめでとうございます。

去年は、国内の安保法案の可決、アベノミクス第2ステージのスタートや海外のテロや中国・新興国の経済成長の減速による世界経済減速、好調なアメリカ経済の金利上げへの影響など国内外の政治・経済は激動の様相を呈しました。

そんな中、足元では地方創生は待たなしで、本年度も引き続き担当します産業・技術振興委員会として産官学金労との連携を深化させ、産産マッチング(大中小企業連携)や産学連携による新分野への展開や新技術・ビジネスモデル等の事業イノベーション、また、人材マッチングや学生の地元定着化などの人材イノベーションをお手伝いします。さらに本年度は、隔年で企画しています海外視察ミッションの年でもあり、将来的な視野に立ち、先進的な革新的技術・ビジネスの方向性や新たなものづくりのヒントを探る旅にしたいと考えます。

本年もご指導ご鞭撻ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



公益社団法人 兵庫工業会

副会長 馬場 宏之

(会員交流委員会 委員長)

新年あけましておめでとうございます。

去年の5月末より、皆様との交流が始まり、あっという間に新しい年を迎えるという感じですが、本年もどうぞよろしくお願いします。

去年は、会員交流委員会を担当させていただきましたが、委員会、懇親会、会員交流見学会、ベトナムやタイの在阪総領事館との交流会、会員交流懇親会(忘年パーティー)などを通じて、会員の皆様が積極的に参加され、活動されている現場を肌で体験し、この委員会の重要性を感じているところでございます。

今年も会員の皆様に喜んでいただけるよう、また、新しい人脈、情報交換、気づきなどが得られる機会となるよう、「Something New」を取り入れ、会員企業のさらなる成長に寄与する交流事業を進めていきたいと思っておりますので、会員交流事業に対する皆様の一層のご支援、ご協力をお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。



兵庫創生に挑む



新年あけましておめでとうございます。

国内では急速な人口減少・少子高齢化、世界では地域紛争が激化する一方で、国境を超えた経済の一体化が進展しています。内外とも変化の激しい今、兵庫においても、新たな発展の枠組みが求められています。

昨秋、本県は、5年間の地域創生戦略を策定しました。今後50年で100万人以上の人口減少が見込まれます。少子化と高齢化も年々進行します。その中でも兵庫が活力を保ち、将来への希望を持てる地域を目指さねばなりません。それだけに、地域の多様な資源を最大限に活用して、ふるさと兵庫を愛する人々とともに、「安全安心で元氣なふるさと兵庫」を創らねばなりません。

第一は、安全安心の確保。安全こそが県民生活と社会経済活動の基^{もとい}です。ハード・ソフト両面から防災・減災対策を進め、危機に強い地域を創ります。また、医療、福祉の更なる充実により、安心して暮らし続けられる体制を整えます。

第二は、多彩な人材が活躍できる社会づくり。女性、若者、高齢者、障害者の一層の社会参加を促します。そのためにも、子育て環境の整備や、個性を伸ばす教育に努め、県民一人ひとりの自己実現を目指します。

第三は、活力あふれる地域づくり。科学技術基盤を活かした新産業の創出、大都市近郊を活かす農林水産業の確立など、産業の競争力強化に取り組みます。また、高速道路網の整備、広域観光圏の形成などにより、内外との交流の拡大につなげます。

未来は、私たちの手で変えられる。

そのため、戦略では、自然増や社会増対策を行うとともに、人口が減る中でも実質的な経済成長を実現するという目標を掲げました。地域、地域の持つ多様な資源を活かしつつ、兵庫としてのまとまりを発揮する「多様性と連携」を基本に、皆さんと共に挑みます。「兵庫創生」に向けて、さあスタートを切りましょう。

各地域 資源を活かし連携し めざすは兵庫の新しい展開

兵庫県知事

井戸敏三

新年に寄せて



あけましておめでとうございます。

新年を迎えるにあたりまして、ごあいさつ申し上げます。

兵庫工業会は昨年創立30周年の節目を迎えられました。皆様におかれましては、長年にわたり兵庫県下の工業振興並びに人材育成に取り組まれ、地域社会の安定的で調和ある発展にご尽力いただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

現在、わが国の社会経済状況は大きく変化しています。特に、人口構造の変化も含めた人口減少社会の到来、グローバル化と産業構造の変化など様々な課題への対応が必要となっています。

神戸市では、少子超高齢化社会にしっかりと対応し、市民が夢をもって元気で安心してくらしていけるよう、また神戸が日本に世界に未来に貢献できるよう、輝ける未来創造都市の実現に向けて取り組んでおります。その中で、次代のリーディング産業の育成など新しい挑戦にも取り組み、市内経済の活性化、雇用機会の拡大に努めてまいります。

神戸のまちは、昨年、震災から20年が経過し、これまでの復興の過程で蓄積してきた教訓や経験を生かし、継承しながら、「選ばれるまち」になるため新しいステージに向けて動き始めました。

地域の経済を支え、雇用の受け皿として重要な役割を果たしておられる地元企業の皆様とともに、人口減少社会などの課題を乗り越えていきたいと思っております。

兵庫工業会の皆様におかれましては、30年の区切りを一つの新しい出発点とされ、さらに一段とご発展をされますよう心からお祈り申し上げますとともに、本市行政に引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が皆様にとりまして、すばらしい年となることを祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

神戸市長 久元 喜造

兵庫工業会30周年記念式典

〈敬称略〉

2015年は兵庫県にとって阪神・淡路大震災から20周年という大きな節目の年でした。この20年でかなり復興を果たした感がありますが、経済状況やまちの賑わいなどでまだ課題もあると思われます。昨年の県下の話題でまず思い浮かぶのは、世界遺産・姫路城が白い化粧の大改修を終え、3月にグランドオープンしたことです。城の上空をブルーインパルスが飛んだ記念イベントや、全国から人が押し寄せたことは記憶に新しいです。自治体や神戸経済界が要望した主要国首脳会議(サミット)の誘致は実現しませんでした。サミット関連で保健大臣会合が今年9月に神戸での開催が決まりました。兵庫工業会も節目の30周年を迎え、新規事業として幹部育成研修や8月に開いた「サマーパーティー」など様々な記念事業を開催しました。最後を締めくくる形で、12月4日に神戸ポートピアホテルで行われたのが「30周年記念式典」。通常の年末会員交流懇親会をバージョンアップした盛大なイベントは、約220人が集いました。

和やかな雰囲気の出産展

恒例の忘年パーティーの前に14時半から始まったのは物産展。会員企業11社と兵庫県が出展する即売会などが行われました。まず盛り上がっていたのはパターゴルフ(協賛・住友ゴム工業)です。3球トライし、カップに入れた分だけゴルフボールがもらえ、全部外してもティーセットがもらえます。自信満々で挑んで3球を難なく入れたのはフルヤ工業の降矢寿民さん。その後も降矢さんは知り合いの経営者の方にパターのアドバイスをしておられました。種類を当てるきき酒(日本酒は白鶴酒造が協賛、ワインはメルシャン協賛)もみなさん真剣に挑戦する姿が印象的でした。「あかん。味わってしもた」という声を聞きつつ、「ワインは多くの投資をしてるから絶対に当てるで」という声も。神戸市産業振興財団の森脇俊道さんは「挑戦することに意義がある」と楽しげに参戦。同コーナーの常連でもある兵庫県立大学の太田勲さんは、限られた時間でも学者らしくじっくりと挑戦されていました。



物産展

記念講演会

15時30分からは記念講演会です。講師はテレビでも活躍されている作家・エッセイストの阿川佐和子さん。講演テーマは阿川さんのヒット著書のタイトルでもある「聞く力」。肩の凝らない内容ながら中身の濃かった講演を少し要約しますと…。

「2012年に出した本『聞く力』は85万部が売れ、同年のベストセラーとなりました。売れた背景として、世の中はコミュニケーション能力で悩む人が多いことがあります。従来の関連本はいかにうまく話すかなど「発信力」の内容がほとんどでしたが、私の本は「受信力」でした。93年に週刊文春の編集長から対談企画を持ちかけられたのが転機です。その前任はデーブ・スペクターさんで、彼は米国人なのに日本語がうまく、するどい質問もされる。ただ激しい討論で相手が怒り出し、そのうち対談相手がいなくなってしまうそうです。私に求められたのはおだやかな対談でした。対談で印象にある作家の城山三郎さんのことを話します。当時、城山さんが訳された本「ビジネスマンの父より息子への30通の手紙」がベストセラーとなり、それについて聞く趣旨でした。この時、城山さんはやさしい顔で私に相次ぎ質問を投げかけ、あぐくには私と父とのエピソードも聞き出されました。それまで有能なインタビュアーは、デーブさんのようなテキパキとするどく突っ込む人だと思っていました。ただ城山さんには全くそういうところがなく、楽しそうに話に反応され、合間に少し相づちを入れリズ



兵庫工業会創立30周年記念講演会



講師 阿川佐和子氏

ムをつけ、私を気持ちよくしゃべらせてくれました。城山さんが経済人など重鎮の方に話を聞き、多くの経済小説などを書かれているのは、こういう取材力があるからじゃないのかと気づいたのです。人の気持ちに寄り添い一生懸命聞くことで、この人には話そうかなという対象になることが、私は大事だと思っています」

講演会の間、メモをとられる方も多く散見されました。取材を商売とする私にとっても参考になる内容でした。

功 労 者 表 彰

記念講演の余韻が残る会場で、30周年を記念して功労者表彰式が行われました。兵庫県金澤和夫副知事より表彰状および記念品が贈呈されました。受賞者は以下の通りです。



功労者表彰受賞者

1. 団体

公益社団法人 兵庫工業会

会長 大 西 功 一

2. 個人 (17人)

直 原 美那子	日本ライニング工業(株)	下 村 俊 子	(株)神戸風月堂
岡 田 保	(株)岡田金属工業所	森 田 文 藏	青木鉄工(株)
出 井 勝	滝川工業(株)	阿比野 剛	阿比野建設(株)
浅 井 昌 信	ヒガシマル醤油(株)	中 川 雅 由	第一熱研(株)
下土井 康 晴	明興産業(株)	友 藤 公 雄	兵神機械工業(株)
近 藤 幸 雄	大王電機(株)	川 旗 邦 彦	(株)旭工業所
高 橋 勝 彦	カルモ鋳工(株)	番 所 利 行	(株)洲本整備機製作所
宮 内 康 伴	福伸電機(株)	頃 安 雅 樹	極東産機(株)
上 月 靖 史	上月ウディックス(株)		

忘 年 パ ー テ ィ ー

17時30分、会場を変えてメインイベントの忘年パーティーがスタートしました。冒頭、大西功一兵庫工業会会長は「兵庫工業会は今年設立30周年を迎えました。これを記念し8月には兵庫県の井戸知事、兵庫県立大学の太田副学長、私の3人で鼎談もさせていただきました。会員の70%を占める中小企業の発展を主眼に置き、今後も工業会として地道な努力を重ねていかねばと考えています」と挨拶されました。

続いて来賓の金澤和夫兵庫県副知事は「オンリーワン企業がこの兵庫の中に続々と出てくることが兵庫のこれからの地域創生の大きなパワーになります」と話され、山本猛神戸市産業振興局長は「人口減少の中でいかに選ばれる町になるかは大きな課題ですが、地元の企業みなさんと一緒になって乗り越えていきたい」と語られました。

恒例の鏡開きは、金澤副知事、山本局長、兵庫工業会から大西会長、馬場宏之副会長(会員交流委員会委員長)、功労者表彰の受賞者を代表し第一熱研の中川雅由会長の5人が壇上に上がり、白鶴酒造の樽酒を「せーの、よいしょ!」と鏡開きました。

乾杯の音頭をとった馬場副会長は「6月より工業会の委員会に出っていますが、活動のみならずその後の懇親会の元気に圧倒されるこの半年でした。みなさん、懇親会では“聞く力”を持って交流を深めてください。乾杯!」と発声し、懇親会

がスタートしました。

ピアノの生演奏とともに、聞こえてくる心地よい歌は幸福未央(こうふく・みお)さんで3曲を歌い上げられました。

さて早速、きき酒の結果発表です。全問正解はおられませんでした。日本酒部門は3問正解者が14人、ワイン部門は4問正解者が6人でした。グローリーの松下秀明さん、カルモ醸工の高橋勝彦さん、シマブンコーポレーションの大路孝雄さん・正垣亮さんが両部門ともに上位当選されました。ちなみに白鶴酒造の櫻井一雅さんによると「きき酒は口にふくまず、鼻でにおいを嗅いで目安をつけるのがコツ」とアドバイスされていました。



金澤副知事ご挨拶



鏡開き



乾杯！

盛り上がった福引き大会

いよいよ福引き大会です。景品は前回は94本でしたが、記念年の今回は大幅に増えて107本が用意されました。外れでも神戸風月堂の「ゴルフ」が参加賞で持ち帰れます。まずは兵庫工業会賞が10本。工業会から島根県海士(あま)町の「さざえカレー」(工業会の宮本さん直々に現地で仕入れたそうです)7本、明興産業から「黒にんにくセット」2本、ラッキーベルから「シューズ券」1本が贈られました。次々と当選者が呼ばれる中、「ついに呼ばれた」と興奮して景品を受け取りにこられたのは第一熱研の中川啓之さんでした。

次の会員企業賞は、アベックス西日本から「プレミアムココア」10本、シマブンコーポレーションから「黒豆煮豆・栗甘露煮セット」3本、麒麟ビバレッジバリューベンダーから「メッツコーラ」(24本入り)5ケース、麒麟・ディアジオから「ジョニーウォーカー」のプラチナとゴールドの各1本、関西麒麟ビバレッジから「麒麟生茶」(24本入り)3本、シスメックスから「日本酒 福寿」6本、兵神機械工業から「野菜セット」10本、神戸風月堂から「ゴルフ」15本、ヒガシマル醤油から「龍野乃刻」10本、ナカシマから「播州そうめん 播磨喜水」3本、阿比野建設から「ギフトコレクション券」「健康ドリンク」各3本、川崎重工業から「大丸カタログギフト券」5本、神戸製鋼所から「ギフトセレクション券」4本。これらを書いているだけでクラクラしてきました…。何はともあれ当選者が続々と呼ばれ、皆さん、えびす顔で商品を受け取っていかれました。

福引きも佳境に入り、ここから当選された方は壇上で喜びのコメントが義務づけられました。コベルコビジネスサポートの「ANAクラウンプラザ神戸のお食事券」が当たったのはヒガシマル醤油の柏木孝さん。思わず「生きてて良かった」と叫びました。

フルヤ工業の「カシオG-SHOCK」はプレゼンターの降矢寿民さんが「いい商品やで」とシマブンコーポレーションの西谷太記さんに手渡されました。引き続き、夢舞台、ホテルオークラ神戸、神戸ポートピアホテルのペア宿泊券が2本ずつ。夢舞台は三輪運輸工業の中野雅晶さん(2年前も同じ宿泊券が当たった幸運の持ち主)とジュピター電算機システムの松本建二さん、ホテルオークラ神戸は上月ウディックスの上月靖史さん、アシックスの廣瀬哲也さんが当選。上月さんは「どうせ当たらないと呼ばれた時はトイレにいました」と思わぬ当選でかなり驚かれていました。神戸ポートピアホテルは麒麟ビバレッジバリューベンダーの多喜順一さんと某新聞社の方(後に明かします)が当たりました。



歓喜の中各賞に当選して賞品を受け取る皆様

そして日本旅行の旅行券を獲得したのは布引製作所の安藤隆さん。「ちゃんと家に持って帰りますんで。家内に喜ばれます」とほのぼのと語られました。

近畿日本ツーリストの「淡路温泉 ホテルニューアワジ別荘」ペア宿泊券を引き当てたのはハニー化成の神門登さん。「こんないい賞が当たったのは初めて」と満面の笑顔でした。

いよいよ副会長賞です。まずは「ダンロップスポーツ スポーツウエア上下」(馬場宏之副会長の寄贈)を関西工事の久木元悦子さんが獲得されました。古泉閣(有馬温泉)の「ペア宿泊券」はプレゼンターである金井宏彰副会長が会場の注目を一手に集める中、たっぷり間をとって発表。蔦機械金属の前田希さんの名が呼ばれ、代理出席した前田彰三さんは「ケガでこれなかった副工場長に温泉へいってもらいます」とナイスな気配りを見せられました。引き続いてのギフトセレクション(村元四郎副会長と松下秀明副会長の寄贈)は、滝川工業の出井勝さん、山本電機製作所の山本博和さんが当選。出井さんは「工業会30周年の功労賞もいただき、ありがとうございます」とW受賞の喜びを語られました。山本さんは「昨日に名古屋で10億円の宝くじを買おうか迷ったが買わなくて良かった。当たったんで10億円宝くじ、ちょっとだけ買おうかな」と会場の笑いをとっていました。



会長賞贈呈

最後の会長賞は、今年も神戸製鋼所からの豪華な「お節料理券」です。1回目の抽選で呼ばれた人が会場におらず、再抽選となりました。会場内のボルテージが上がる中、残り福をつかんだのは井上鉄工所の井上美智代さんでした。あでやかな着物姿で壇上に上がられ、大西功一会長から目録を受け取った井上さんは「来年に創立60周年を迎えます。3年前にポートピアホテルの宿泊券が当たったので、こんな賞はもういただけないと思っていました。来年からは隅の方にいます」と照れながらコメントされました。

中締めで会員交流委員会の神門登副委員長は「本日の理事会で兵庫工業会の委員会と運営体制を審議し可決されました。来年度は新しい事業が始まるのではと期待

しています」と挨拶され、会はお開きとなりました。

今回初参加させてもらい、もっといろんな方と話したかったのですが、この懇親会などの様子を文章にする仕事を引き受けた以上、専念させてもらいました。ただビッグな景品(ポートピアホテルの宿泊券)が私に当たる想定外のハプニングもありましたが…。

迎えた2016年は「申(さる)年」。真っ先に思い浮かぶ言葉は「三猿(見ざる、言わざる、聞かざる)」です。人を惑わす余計な事を「見ない、言わない、聞かない」という人生の自戒を込めたことわざとされます。たまに筆が暴走する?私自身もこの言葉をかみしめたいと思います。最後に兵庫工業会が次の40周年、50周年へ向け飛躍の年となられるようお願いまして、今回の報告を終わらせていただきます。

(日刊工業新聞社神戸支局長 広瀬友彦)

平成27年度 第2回理事会 ご報告

平成27年12月4日(金)14時30分から神戸ポートピアホテルにて開催いたしました。

次の議案について審議が行われ、満場一致で承認され平成27年度第2回理事会は滞りなく修了しました。

議案

- 第1号議案 兵庫工業会 委員会と運営体制について
- 第2号議案 特定個人情報取扱規定について
- 第3号議案 会員の入会について
- 報告事項 平成27年度事業について 他

新 会 員 紹 介

関西キリンビバレッジサービス株式会社

代 表 者 取締役社長 新井 裕明
所 在 地 〒530-0011
大阪市北区大深町4番20号
グランフロント大阪タワー A23F
T E L 06-7730-9206
F A X 06-6371-9034
資 本 金 1,000万円
従業員数 380名

■営業品目
清涼飲料水、食品の販売

■事業内容
私達は清涼飲料の販売を通じて、暑い日にはよく冷えた商品を、寒い日には温かい商品を提供し快適な空間を創っていく為に、自動販売機による飲料ビジネスをさらに拡大していきます。そして何よりも、お客様に近い位置でダイレクトに営業活動を展開することによって、地域と共に歩み、お客様と社員から愛される会社を目指します。



キリンビバレッジバリューベンダー株式会社

代 表 者 支社長 平井 清衛門
所 在 地 〒530-0011
大阪市北区大深町4-20
グランフロント大阪タワー A23階
T E L 06-7730-9199
F A X 06-6371-9022
資 本 金 100,000万円
従業員数 300人

■営業品目
自動販売機に関わる清涼飲料水および食品の企画・販売

■事業内容
当社は、キリンビバレッジの主に自販機に関連する商品企画・マーケティング・販売関連業務を担う事業会社として7月に設立しました。「ハコモノ」からわくわくする「活きモノ」へという創業指針に基づき、自販機事業ならではのマーケティング戦略を展開し、自販機専用商品の開発・販売などお客様をわくわくさせるような提案を行い、独立採算制のもと専門性を高め、営業体制の強化を行います。



株式会社城洋

代 表 者 代表取締役 角田 城治
所 在 地 〒672-8022
姫路市白浜町宇佐崎南1-68-1
T E L 079-245-0598
F A X 079-246-3029
U R L <http://www.jys-joyo.co.jp>
資 本 金 3,600万円
従業員数 73人

■営業品目
造船・航空機・IT・製鉄所・水処理・関連部品製造

■事業内容
金属加工で50年の実績。精密機械部品製造のノウハウを有し、射出成形機の心臓部を担うシリンダー（加熱筒）のトップグレードに属する『高耐食・耐磨HIPシリンダー』を素材～製造まで一貫体制で行う国内唯一の製造メーカーです。メーカーとして重要な「生産技術・生産管理・品質管理」の体制で常に改善を意識すると共に、信頼と実績でお客様との‘WIN・WIN’の関係を築いております。



あいき不動産鑑定株式会社

代 表 者 代表取締役 土田 剛司
所 在 地 〒650-0012
神戸市中央区北長狭通4-4-18
富士信ビル3階
T E L 078-392-0950
F A X 078-392-0960
資 本 金 3,000万円
従業員数 5人

■営業品目
不動産鑑定・不動産価値コンサルティング

■事業内容
工場、倉庫、事務所ビル等の適正価格・適正賃料について第三者として専門家の証明書（鑑定書）を発行しています。
貴会において、兵庫の工業に係る様々なことを勉強し、鑑定やコンサルティング技術の向上に役立てたいと考えています。
兵庫県におけるオンリーワンの不動産鑑定会社を目指しています。皆様のご指導賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。





阿比野建設株式会社

所在地：〒671-1116 兵庫県姫路市広畑区正門通4丁目3番地3
T E L：079-236-3555 F A X：079-237-0105
U R L：<http://www.abino.co.jp>
代表者：代表取締役社長 阿比野 剛

【NSスーパーフレーム工法】の構造見学会を開催しました

現在、当社が建設中の新日鐵住金(株)広畑製鐵所の独身寮『高浜寮』において構造見学会を開催致しました。

当日は、晴天にも恵まれ姫路市役所様をはじめ行政の方々や多くの企業の皆様にご参加頂きました。

見学会では、様々な用途に採用可能で、重量鉄骨を使わず耐火4階建てが建てられる【NSスーパーフレーム工法】の構造の仕組みを現場で見て頂きました。



阪神淡路大震災を契機に、新しい住宅の建築工法として日本に導入されたスチールハウス工法（構造躯体は新日鐵住金広畑製鐵所で製造、加工された【スーパーダイマ】0.8mm～1.6mmの薄板軽量形鋼を使用）は、強さ、快適さ、短工期など多くの優位性を評価されています。このスチールハウス工法の優位性を更に進化、発展させたものがNSスーパーフレーム工法です。

説明会では外貼り断熱工法を標準採用し優れた断熱性能による居住性の良さ、ランニングコストの優位性等様々な実績を紹介致しました。又、躯体が軽量なことによる基礎工事の簡略化、スチールパネルの工場製造化によるコストダウン、工期短縮、減価償却期間19年による税制の優位性といった様々な特徴を説明致しました。



社宅、寮、事務所、福祉施設等の建設予定や構想がございましたら検討の一つに入れて頂けましたら幸いです。

問い合わせ先

阿比野建設株式会社 開発営業部 [担当：三木田（みきた）]
本 社：〒671-1116 兵庫県姫路市広畑区正門通4丁目3番地3
電 話：079-236-3555
F A X：079-337-0105
E-mail：mikita@abino.co.jp

平成27年度職域における創意工夫者表彰 表彰式

現場の改善活動などに貢献された方々を顕彰する「職域における創意工夫者表彰式」を12月25日(金)、兵庫県公館にて開催し、兵庫県知事賞80名、兵庫工業会会長賞96名の方々が受賞されました。

厳かな雰囲気の中、それぞれ代表の方に金澤副知事、大西会長より賞状と記念品が手渡され、式後は各所で記念撮影される受賞者が見られました。受賞者の皆様、おめでとうございます。



代表受賞者への兵庫県知事賞授与



大西会長挨拶

いもに拓く

「～とともに拓く～」 コーナーについて

兵庫工業会ニュースを、会員の皆様の情報発信の機会として会員各社様の新技術・新製品・新工場等の情報を掲載していただくコーナー「～とともに拓く～」に是非!! ご活用下さい。

記載サイズ 1/3～1ページ

記 載 例 (1/3ページの場合) ● 写真などの掲載ありの場合…400字程度でご寄稿
● 写真などの掲載なしの場合…600字程度でご寄稿
*フリーフォーマット(文面と写真を載せた貼り付け記事も掲載いたします。)

料 金 無料

連 絡 先 公益社団法人兵庫工業会 総務部 ニュース担当(和田、福田)

会 員 動 向

新入会員			
企 業 名	代 表 者 名		所 在 地
関西キリンビバレッジサービス(株)	取締役社長 新井 裕明		大阪市
キリンビバレッジバリューベンダー(株)	支社長 平井 清衛門		大阪市
(株)城洋	代表取締役 角田 城治		姫路市
あいき不動産鑑定(株)	代表取締役 土田 剛司		神戸市
代表登録者変更			
企 業 名	新 代 表 者	旧 代 表 者	変 更 日
(株)水上製作所	代表取締役 池田 一一	足立 克好	平成27年 8 月21日
社名変更			
新 社 名	旧 社 名		変 更 日
コベルコ・キャリア・ディベロップメント(株)	(株)神鋼ヒューマン・クリエイト		平成27年12月 1 日
住所変更			
企 業 名	新 住 所		変 更 日
(株)誠工社	〒668-0831 兵庫県豊岡市神美台 157-35		平成27年12月21日

イベント情報

月 日	事業名・内容	場 所
2月9日(火)	合同委員会	有馬 古泉閣
2月17日(水)	ものづくり技術懇話会 (中播磨地域)	姫路市内
3月15日(火)	平成27年度第3回理事会	神戸市内

会員交流懇親会風景



工業会事業紹介パネル



パターゴルフ



懇親会場



きき酒

ご入会・セミナー・講演会・研修などのお問合せ・お申込みは…



公益社団法人
兵庫工業会

本 部
神戸事務所

〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター 3 階
TEL 078 (361) 5667 / FAX 078 (371) 4336 / Eメールアドレス mail@hyogo-ia.or.jp
URL <http://www.hyogo-ia.or.jp>

姫路事務所

〒670-0962 姫路市南駅前町123 じばさんびる3階
TEL 079 (223) 8230 / FAX 079 (223) 8231